

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2024

1

vol.313



年頭の挨拶

福島県酪農業協同組合

代表理事組合長

紺野

宏



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、組合事業にご支援・ご協力を頂いておりますことに対して、厚く御礼申し上げます。

昨年は、短い梅雨とその後の猛暑の連続。その暑さは、十一月半ばまで夏日が続くような異例づくめの一年となりました。とりわけ乳牛へのダメージは、いまだに尾を引いているものと思われ

ます。さて、今年で新型コロナウイルス感染症との攻防も五年目を迎えました。国内においては、昨年五月から感染症法上の位置づけが第五類へと移行されたことにより、多くのイベントが再開されています。行動制限も緩和される中、社会活動や経済活動に以前の人流が

戻り、景気回復への期待感が見えてきました。

しかしながら、現情勢において最悪の事案であるロシアのウクライナ侵攻は、依然として世界経済に甚大な影響を及ぼし、私たちの生活と経済活動において様々な形で表面化しています。更には平和社会の根幹である国際秩序を揺るがし兼ねない異常事態と言わざるを得ません。

そのような中、輸入飼料と燃料・資材の高騰は、想定を超えるものであり酪農を取り巻く環境は日を追うごとに悪化の一途をたどっていることから、令和四年度の乳価交渉は、期中ながら令和四年十一月一日出荷分から飲用向けと発酵乳向け取引に対して、十円の値上げで妥結しました。しかし、生産コストの上昇分を賄うには程遠いものであった上に令和五年に入ると急激な円安により輸入資材はもとより光熱費の値上げが相次ぎました。令和五年度の乳価交渉も年度をまたぐ形となり、八月一日から前回同様の飲用向けと発酵乳向け取引に対して、十円の値上げに至りました。

厳しい酪農経営状況を踏まえ、県からの財政対策支援を

賜りました。また、私たち県酪農協は日本酪農政治連盟を通して、この窮状を国に訴えてきました。

さらに、県酪農協として組合員が在籍する二十九市町村に対し昨年引き続き、経営の実態と生産コストの乖離を説明し財政支援を要請してきました。多くの市町村においてご理解を賜り、支援策が講じられています。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

三・一一東日本大震災並びに東電原発事故から十二年十ヶ月が経過しました。令和三年から進めている浪江町での復興牧場建設は、公設部分の予定地造成並びに建築設計、当組合が担う民営部分の法人設立等を順序立てて進めてきました。昨年四月には、予定地の浪江町棚塩地区において「畜産施設敷地造成工事」安全祈願祭を執り行い、引き続き建築工事・施設工事等の入札が進められています。

一方で県酪農協としては、六月二十一日開催の県酪農協通常総会

で「シャインコースト株式会社設立の発起人並びに出資について」。さらに七月二十七日開催の全酪連通常総会において「シャインコースト株式会社設立の発起人となる件について」が、それぞれ承認されました。これらを受けて、運営母体となる法人設立の為に「復興牧場法人設立準備委員会」さらに「法人設立発起人会」を経て、十二月十九日に創立総会を開催し、シャインコースト株式会社を正式に発足させました。

今後は、福島県酪農の復興・生産基盤の確立を目指し、牧場の本格稼働に向け復興牧場設立準備室を窓口として町と連携を密に事業推進に当たってまいります。

一方、休業中の四十九戸の酪農家においては、復興牧場建設もさることながら、自給飼料生産圃場の確保・試験作付け、さらに出資など直接・間接的に関わってくださいの方々が増えてきました。

震災からの復興についても一つ、この度「平

成二十三年三月十一日東日本大震災並びに東京電力福島第一原子力発電所事故による福島県酪農に関する記録」を発刊することが出来ました。本記録は、広く太平洋沖を震源とする大地震とその後津波に飲み込まれた東京電力福島第一原子力発電所の原子炉建屋の水素爆発に伴う放射性物質拡散によって引き起こされた本県酪農の存続を揺るがしかねない惨事のあらましと生乳出荷再開までの未知との闘いをまとめていただきました。

本記録をまとめていく中で、これまで全国各地から寄せられた多くの皆様のご支援ご協力並びに励ましのお言葉、復興を後押しして下さいました関係機関皆様への感謝の気持ちを新たにしました。

結びに、グループ会社である「酪王協同乳業㈱」が、広く県内酪農家の生乳の受け入れ先となり、これまで以上に福島県民に愛される牛乳・乳製品作りに寄与し、同じ子会社の(株)らくのう乳販共々

連携を密にし、将来にわたり組合員の負託に応え得る組織として積極的に事業を展開してまいります。

本年も引き続き、福島県酪農の着実な発展へと

新年を迎えて

福島県農林水産部
部長 沖野 浩之

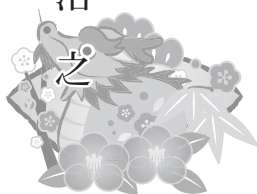


謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には、日頃より本県酪農の発展に格別の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、組合員の皆様には、安全・安心な生乳を生産するため、愛情を込めながら、日夜、細心の注意を払い乳用牛の飼養管理をされており、そのたゆまぬ御努力に心から敬意を表します。

繋げていける年にしてまいりたいと存じます。組合員皆様並びにご家族皆様にとつて幸多い年でありますことをお祈り申し上げます、新年のご挨拶と致します。



本県酪農については、大規模酪農施設の整備が進んでいるほか、被災酪農家が昨年十一月には、乳用牛とともに地元で再開するなどの復興・再生に向けた歩みを着実に進めております。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症の五類感染症への移行に伴い、福島県ホルスタイン共進会等がコロナ禍前のような公開行事として開催ができるようになった一方、円安等による飼料価格の高止まりに加え、記録的な猛暑による生乳生産量の低下

や子牛価格の低迷など、酪農経営にとって厳しい状況となりました。

このような中でも、安定した酪農経営を持続するには、海外情勢の影響を受けにくいよう、生乳の生産コスト低減や国産飼料の増産と利用拡大を進めることが重要となります。

県といたしましては、生乳生産効率を高めるための能力の高い乳用雌牛の導入や、次世代の牛群の能力が向上するよう、性選別受精卵や遺伝子評価の利用を推進しております。加えて、昨年十二月には新たに、生乳生産コストの低減が期待できる、泌乳持続性の高い酪農経営への転換を図る予算措置を行いました。国産飼料の増産に向けては、短期的な対策として飼料価格の上昇分の一部を助成しているところであり、長期的な対策として畑地における飼料作物の作付拡大を支援するなど、酪農経営の発展に向け、しっかりと取り組んでまいります。

結びに、本県のスロー

ガン「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」のもと、福島県農林水産業振興計画に掲げた目標の達成に向け、各種施策の着実な進展を図るため、皆様には、引き続き力を合

わせ本県酪農を牽引していただきます。

新年のご挨拶

日本酪農政治連盟福島県支部連合会

会長 木目澤次男



令和六年の新春にあたり、一言、御挨拶を申し上げます。

会員の皆様には常日頃から温かい御支援と御理解のもと、酪農政治連盟活動に御協力をいただき

ておりますことに心から御礼を申し上げます。新型コロナウイルスについては、昨年五月より感染法上の五類に分類されたことにより、約三年

いたたくようお願い申し上げます。福島県酪農業協同組合の益々の御発展と、組合員の皆様

の御健勝、御活躍を心から祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。

値上げが実施され、更なる社会不安が広がり、酪農経営環境は益々混沌としております。また、物価高騰に伴う消費者の生活防衛意識の高まりなどにより、牛肉の需要は軟調に推移していることから、子牛価格も全般的に下落しており、一層酪農経営を圧迫している状況となっております。

このような中、指定団体は一五円/kgの値上げ乳価交渉を進めておりましたが、結果として四月取引分から乳製品向け生乳について一〇円/kg値上げ、八月取引分から飲用向けと発酵乳向け生乳について一〇円/kg値上げ、更に十二月取引分から乳製品向けのうち油脂分向けの生乳について六円/kg値上げで決着しております。しかし、酪農経営コストの上昇分を充分補うまでには至っておりません。

日本酪農政治連盟としては、十一月二十九日に中央委員会にて決定した内容に基づき、①生乳生産費を適切に算定し生産者が経営意欲を持てる加

工原料乳補給金の単価設定、②生乳の需給改善に向けた支援策の継続、③酪農家が生乳を再生産可能な適正な価格形成制度の検討、④不公平感が指摘される改正畜安法の検証、⑤自給飼料生産が不利な地域等に対する支援策の構築、⑥有害鳥獣被害対策、⑦牛乳・乳製品需要の拡大施策等について要請いたしました。

令和六年度の酪農対策等の政策の実行につきましては、政府原案といたしまして、加工原料乳生産者補給金制度に基づく交付単価が1kgあたり十一円六十銭となりました。内訳としましては、「加工原料乳生産者補給金」は八円九十二銭、条件不利地域からの集送乳経費を助成する「集送乳調整金」は二円六十八銭となります。

最後になりますが、会員の皆様にとりまして、令和六年が素晴らしい一年となりますよう祈念し、新年の御挨拶いたします。

新年のご挨拶

全国酪農業協同組合連合会 仙台支所

支所長 蒲田 泰介



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、弊会の各種事業への格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も穀物価格の高騰、円安による生産資材価格の高止まり、乳価は値上げとなりましたが生産現場は依然として厳しい状況が続いております。

東北でも平均気温が年々上昇し、昨年の夏はまさに酷暑となり暑い日が続く牛のダメージも深刻でした。

今年からは換気扇の掃除や重層給与などの暑熱対策への準備は、四月頃

から始めることをお勧めいたします。

「数十年に一度の〇〇」という表現が毎年のように使われ、異常気象の発生頻度を増やす要因として考えられる地球温暖化防止への取り組みが、世界中で加速度的に進んでおります。

この様な話になると挙げられるのが、反芻動物のゲップに含まれるメタンガスによる温室効果ガスへの影響です。

メタンガスは二酸化炭素の二十五倍もの温室効果があると言われており、世界の温室効果ガス総排出量の四六%が牛のゲップと言われております。

こういった話になると、また我々に負担を強いるのか、と辟易と憤りを感じるところですが、現在牛から排出されるメ

タンガスを抑制するワクチンや飼料、海藻や脂肪酸カルシウムなどを利用した飼料添加物の研究開発が世界各地で精力的に進められております。

個々の牧場でもメタンガスを抑制することが出来れば、カーボンクレジットにより排出量削減分を売却して利益が出る未来が来るかもしれませ

ん。また、牛のゲップからメタンガスを回収し、再生可能エネルギーとして活用する研究もされているようで、実現されれば新たなクリーンエネルギーとして重宝される時代が来るかもしれませ

ん。思いつくまま書き綴りましたが、今年も甲辰（きのえたつ）の年です。昨年まで努力してきたことが実を結んで成長する年、急速な成長と変化が起き、大きく変化して行く年とのことです。

今までの努力が報われ、成長と変化が皆様にとって素晴らしいものになるよう、私どもも様々

な変化に対応し、安心して酪農を継続して行くことが出来る環境作り一心同体で取り組んで参りたいと思っております。

最後になりますが福島県酪農業協同組合のご発展と、組合員の皆様ならびにご家族の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



『シャインコースト株式会社』 創立総会 開催される



浪江町牧場建設地
(上段は造成工事中、下段は文化財発掘中)

12月19日(火)【大安】に浪江町の苧野防災コミュニティーセンター会議室で、シャインコースト株式会社創立総会が開催され提出議案は全て承認されました。

当日は、発起人(3法人+1個人)および法人出資者(浜通り避難休業酪農家4名)が参集し、浪江町、農林中央金庫福島支店より来賓として出席して頂きました。

提出議案は全て承認され、設立時取締役3名及び設立時監査役1名が決定されました。

総会後の取締役会では代表取締役2名が決定され下記の通りとなりました。

今後、令和7年度末の牧場完成に向けて、浪江町及び近隣市町村で自給飼料生産及び収穫受託作業を含め、牧場稼働後の飼料作物及び堆肥・液肥散布圃場の確保に努めて参ります。

牧場稼働後は、組合員の皆様を支える牧場となれるよう頑張ってお参ります。

○創立総会提出議案

- ・第1号議案 創立事項の報告の件
- ・第2号議案 定款承認に関する件
- ・第3号議案 設立時取締役及び設立時監査役の選任の件
- ・第4号議案 会社法第93条の所定の調査報告の件

○第1回取締役会提出議案

- ・第1号議案 取締役会規程の制定について
- ・第2号議案 代表取締役の選定について
- ・第3号議案 役付取締役の選定について
- ・第4号議案 取締役の個人別決定について
- ・第5号議案 株主総会・取締役会における召集権者および議長の事故代行順位者について

法 人 名
本店所在地
取締役及び監査役

シャインコースト株式会社【会社登記12月25日(大安)】
 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字芋頭33-1
 代表取締役社長 紺野 宏 (福島県酪農業協同組合)
 代表取締役専務 山崎 正典 (全国酪農業協同組合連合会)
 取 締 役 宮田 幸雄
 監 査 役 柚原友加津 (福島県酪農業協同組合)



発起人代表挨拶



来賓挨拶
(浪江町農林水産課長 金山氏)



(左から宮田幸雄氏、紺野宏氏、山崎正典氏、柚原友加津氏)



ロゴマークデザインコンセプト

- ・ 橙～赤 : 太陽の輝き (Shine)
- ・ 白ライン : 生乳
- ・ 緑 : 牧場が再生していく大地
- ・ 青 : イノベーションコースト (海岸: Coast) 太平洋のオーシャンブルー

県南酪農研究会主催

うつくしまも～も～スクールを4年ぶりに開催！！

11月11日(土)に石川町立石川小学校において、搾乳体験・子牛のふれあい体験を行う「うつくしまも～も～スクール」を4年ぶりに開催しました

新型コロナウイルス感染症等により「も～も～スクール」の開催を見送っていましたが、石川小学校から開催してほしいとの要望があったことと、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより各種イベントを開催していこうという思いから、牛を連れて搾乳体験や子牛のふれあい体験を行う『うつくしまも～も～スクール』を4年ぶりに開催することができました

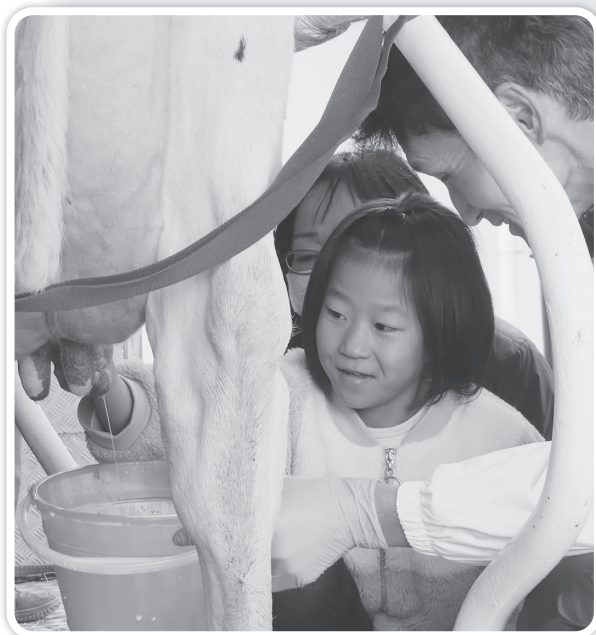
当日は石川小学校4年生 66名と保護者や先生たちも参加して、「酪農の話」「バター作り体験」「搾乳体験」「子牛のふれあい体験」を行いました。牛を見ること、触ったことがある児童が多い中、初めて牛に触れるという児童もあり、恐る恐る牛に触れて気持ちいいやかわいい、搾ったお乳があたたかいなど体験をしての感想を口々にしていました。直接、牛に触れての「搾乳体験」や「子牛のふれあい体験」は大変人気で、久しぶりに開催した「も～も～スクール」でも子供たちのたくさんの笑顔に出会うことができました。

また、今回の「も～も～スクール」の体験を通して、牛乳がたくさんの人たちによって届けられて牛乳を飲むことができるということを理解したことや感謝して飲みたいなどとアンケートにも答えてくれました。

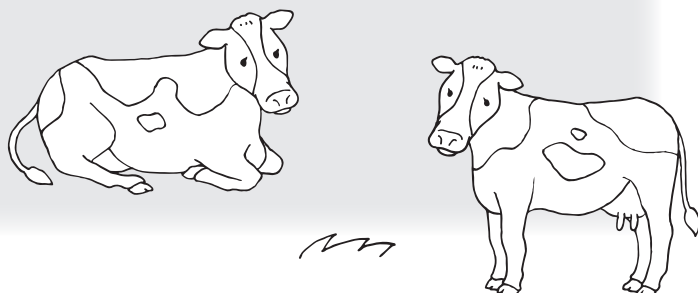
さらに県南酪農研究会・県南やまびこ会の会員の方々も多数参加いただき、開催することができました。ご協力いただきました皆様へ感謝申し上げます。

引き続き、来年度においても開催を検討しており、現在、福島県酪農協のホームページにおいて、「も～も～スクール」の募集を行っております。開催してほしいなどの問い合わせ等ありましたら、酪青連事務局、各研究会事務局へご連絡いただきますようお願いいたします。

お礼の手紙を書きましょう。牛をお世話することの大変さを知りました。またお母さん牛が子どもにあげるために出すおちちをおたしたちがもらって牛にゅうとして飲んで、たくさんの人たちのおかげで牛にゅうを飲むことができることも分かりました。も～も～スクールに参加して、これからはかんしゃして牛にゅうを飲もうと思いました。らく農組合のみなさん本当にありがとうございました。



お礼の手紙を書きましょう。11月11日のも～も～スクールでは、バター作り、搾乳体験など、色々な体験をさせてくださりありがとうございました。わたしは、牛を見たことはあるけどさわったことはなかったので初めてさわってあんなにあたたかいんだと知りました。きかいがあればまたやりたいです。



石川小学校で、搾乳体験・子牛のふれあい体験を行う

お礼の手紙を書きましょう。

もともと牛には好きだし、
ももスクールをわて、もと大好きに
なりました。
これからもいっぱい飲みたいです。



お礼の手紙を書きましょう。

牛の事や子牛の事などおしえてくださ
りありがとうございました。
わたしは、さく乳で牛からしぼったさ
がやわらかくてび、くりしました。それに牛
乳が上手で温かくてび、くりしました。



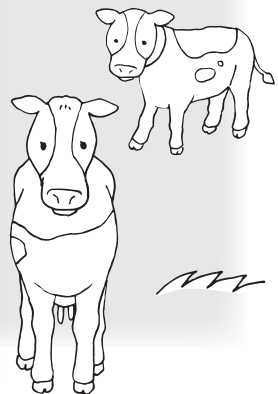
お礼の手紙を書きましょう。

ももスクールでは、いろいろなことを教えてくださり、ありが
うございました。今回の体験で、牛のことをたくさん知ることができま
した。その中でも、牧場のお話では、いつも飲んでる牛にゅうを、たい
んな思いをして作、てしどけてくださ、ているんだということが、とても
よく分かりました。わたしは牛にゅうが大好きなので家でも毎日飲
んでいます。牛にゅうからヨーグルトを作、て、おいしく食べ、ています。
これからはお体に気をつけて、お仕事をがんば、てくださ、い。



お礼の手紙を書きましょう。

牛の事について、たくさんを知りました。
牧場の言葉では、牛の大切さを知りました。
バター作りでは、バターが苦手でも、食べられたしとてもお
いしかったです。うちいまり、子牛とのふれあいは、牛
がももこなき、さわ、れ、いとそたのしかったです。



福島県牛乳普及協会が 「第62回福島民報広告大賞」 モノクロの部において、最優秀賞を受賞

子どもたちに継がせたいのは、
希望が持てる未来だ。



日本の酪農は、存亡を左右するほどの危機を迎えています。加速する円安により、飼料や肥料、燃料等、あらゆるコストが異常な高騰を続け、特に、乳牛の飼料に欠かせないトウモロコシの国際価格は急騰。これまでも自然災害やコロナによる消費減など、幾度となく苦難を乗り越えてきた酪農ですが、このコスト高は、今まではとてつもない深刻さです。良質な堆肥の生成、田畑の活用、食料自給率向上への貢献、そして、栄養豊富な牛乳の安定した供給。本来誇るべき酪農という仕事を、子どもたちに継がせられないと考える酪農家が後を絶ちません。これからも日本の酪農を守り、安全安心で質の高い福島の牛乳を皆さまの食卓にお届けするために、乳価の値上げにどうかご理解ください。

福島の牛乳をお届けするために。
これからも変わらない応援をよろしくお願いします。

福島県
牛乳普及協会

福島県酪農家
協同組合

全国農業協同組合
連合会福島県本部

福島県
牛乳流通改善協会

酪王協同乳業株式会社、松永牛乳株式会社、木村ミルクプラント株式会社、会津中央乳業株式会社、有限会社角田ミルクプラント、有限会社ささき牛乳

「福島の牛乳をお届けするために。」

「子どもたちに継がせたいのは希望が持てる未来だ。」このフレーズに込められた責任感を果たすために消費者の理解が必要になる。事実をしっかりと伝え真摯に取り組む姿勢がこの広告から読み取れる。牛舎で餌を食べる牛たちの写真もそんな希望に満ちたものに見えてきた。

「第62回福島民報広告大賞」は、クリエイティブディレクター 箭内道彦氏、村松秀俊氏、福島民報社 沢井正樹広告局長の3名が審査を行いました。

上記は審査員から受賞にあたりいただきました講評を掲載しております。

令和5年11月8日に開催された福島民報広告大賞審査会にて、福島県牛乳普及協会がモノクロの部で最優秀賞を受賞しました。12月6日には、福島市で表彰式が行われ、紺野宏会長が出席しました。



福島県牛乳普及協会では、新聞広告の掲載を毎年行っております。

今回は、厳しい酪農情勢を伝えるとともに、引き続き安全安心な福島県産牛乳を消費者の皆様へお届けするために乳価の値上げへのご理解をいただきたく内容を伝える広告を作成いたしました。広告に掲載した牛たちの写真については、福島県内の酪農家よりご提供いただきました。引き続き、消費者の皆様へ広告等を活用し酪農家の状況等を伝えて参ります。

購買畜産課

令和6年1～3月の牛用飼料価格について

令和5年度第4四半期（令和6年1月～3月）の牛用飼料（配合・哺育）につきまして、下記のとおり価格改定を致しますのでご案内申し上げます。

記

改定額(令和5年10～12月期対比)

(1) 牛用配合飼料 トン当たり

2,800円値上げ

(2) 牛用哺育飼料 トン当たり

30,000円値下げ

原料情勢等につきましては、以下のとおりです。

主原料である米国産とうもろこしについては、12月8日米国農務省の需給予想において2023年産の生産量は152億3,400万ブッシェル（3億8,696万トン・前年比111.1%）、単収は174.9ブッシェル/エーカー、総需要量144億9,000万ブッシェル（3億6,806万トン）、期末在庫21億310万ブッシェル（5,413万トン）、在庫率14.71%と発表されました。

米国産が豊作見通しにある一方で、ブラジル産が輸出港における物流混乱や減産懸念にあることから、シカゴ定期は底堅く推移しています。

大豆粕については、ブラジル北部の干ばつによる減産懸念によりシカゴ大豆定期が高騰していることや、国内の大豆油搾油量が低調なことから、相場は高騰しています。

糟糠類については、グルテンフィードはスターチメーカーの稼働が順調にある一方で、配合割合

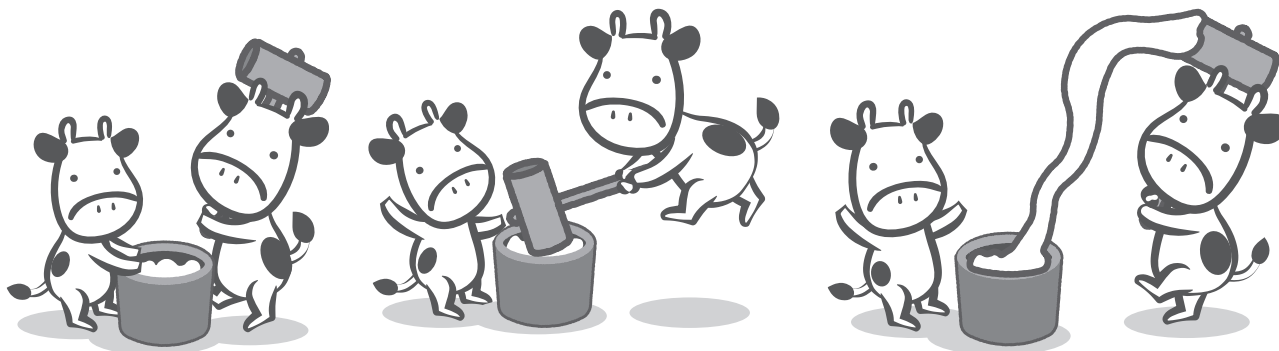
が引続き高い水準にあることから、相場は横ばいで推移しています。ふすまは小麦粉需要が回復傾向にある一方で、在庫逼迫懸念が引続きあることから、相場は底堅く推移しています。

脱脂粉乳については、中国からの引き合いが回復傾向にある一方で、欧州・オセアニア産の生乳生産が順調なことから、相場は弱含みで推移しています。

海上運賃は、原油価格の上昇が一服した一方で、パナマ運河の通航制限が解消されず船舶需給が引続き逼迫していることから、堅調に推移しています。

為替相場は、米国における利下げ開始時期に関する思惑から、日米金利差を意識したドル円の売り買いが交錯し、不透明な状況が継続しています。

以上



令和5年度安達支部研修会開催



令和5年11月17日(金)三春馬場の湯 三ツ美屋において、安達支部研修会を開催いたしました。講師に全国酪農業協同組合連合会 仙台支所 購買畜産課 根城 聡美氏をお迎えし、「子牛をより良く育てる哺育管理」～最初の1日と最初の1ヶ月の大切さ～と題し、講演を賜りました。女性が担当になることが多い哺育に関する内容の為、安達支部女性会員が参加いたしました。講演は初乳給与の大切さ、給与時のポイントを中心にお話があり、良質な初乳を清潔な哺乳瓶で1回目6時間以内に十分な量を給与し、生まれてきた子牛を病気から守る免疫グロブリンを迅速に移行させる必要がある。免疫移行が消化器疾病や呼吸器疾病の低下につながり、

さらに発育の向上も見込まれる。その後初産乳期乳量が増加し利益増加につながっていく。いざ飲ませようとした時に、あまり飲んでくれないという時は、2～3時間かかってもいいので、子牛を十分に乾かして温めること。そうすることで哺乳欲が出てきて、2～3リットルは飲ませることが出来るようになる。哺乳ボトルの工夫として、ティートの穴の大きさを調整することでも飲みやすくなる。粘度のある初乳の際は12mmに調整、代用乳の場合は買ったサイズの8mmで給与する。講演後は、参加者から質問・情報交換等が行われました。各自行っていること、男性は気づかない女性の細やかな目配りの凄さが伺える内容でした。懇親会では、安達支部の女性が集まるのは久しぶりとあって、雑談に話が弾み大きな声で笑い、共感し合い楽しい時間を過ごすことが出来ました。最後に色々あるけど夫婦二人いるから続けられる。どちらが欠けても駄目。そして女が元気じゃないとね！そのお言葉には、家族を支える女性の力強さを感じました。



個包装



3個入



5個入



8個入

(株)ドウシシャより「酪王いちごオレダックワーズ」が発売されました。

大好評発売中の「酪王カフェオレダックワーズ」に続く第2弾!

酪王いちごオレ入りのクリームを素朴な美味しさのダックワーズにサンドしました。濃厚なクリームとさっくり軽いダックワーズのコントラストをご堪能ください。

発売日……2023年12月9日(土)

販売先……東北全域

価格……3個入 本体価格 500円(税別) 540円(税込)

5個入 本体価格 750円(税別) 810円(税込)

8個入 本体価格 1,200円(税別) 1,296円(税込)

製造元……国見製菓(株)

使用量……ダックワーズ全体に1.6%使用

指導推進課コラム

1月

ゲノミック検査事業について②

前回は組合の奨励事業で扱っているゲノミック検査について紹介しました。ゲノミック検査については、各社様々な形で結果を提示していますが、今回はファームノートのゲノミック検査について紹介します。

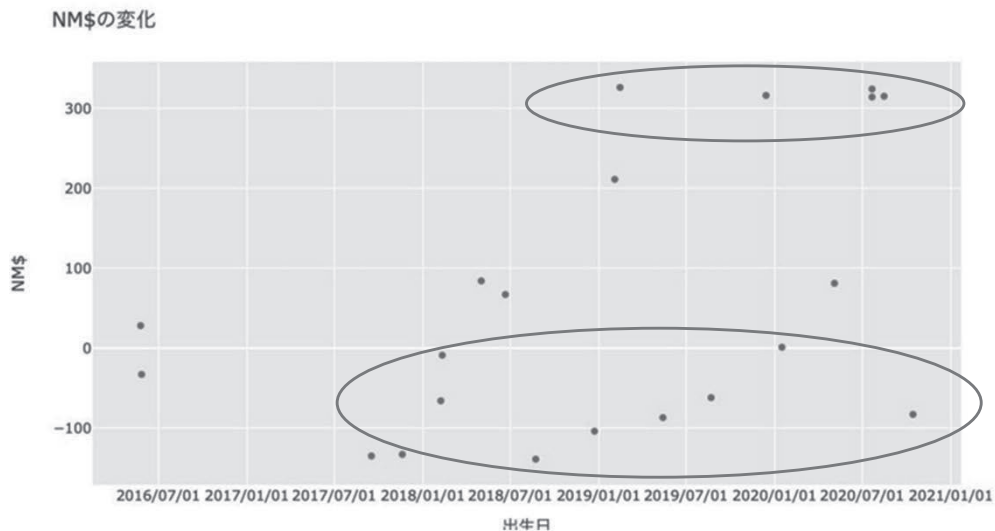
ゲノミック検査では乳牛の遺伝情報について膨大なデータが提供されますが、情報量が多いため、結果を改良に活かすことが難しい面もあります。

ファームノートでは、専用のプラットフォームを用いて結果を分かりやすく提示してくれる他、専属の獣医師を通じ、検査結果とその分析・評価をフィードバックしてくれる体制をとっています。

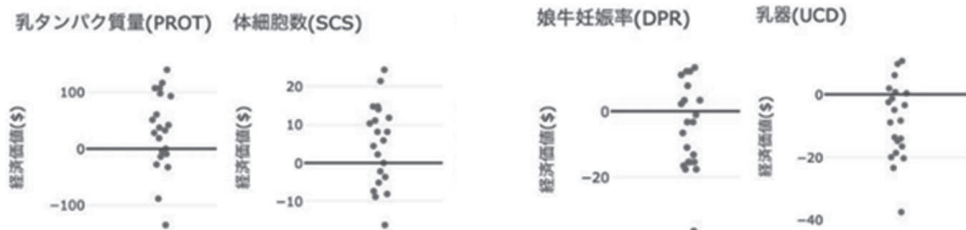
ファームノートではまずネットメリット (NM\$) と呼ばれる評価値に着目します。

NMの詳細は省略しますが、簡単に言えば遺伝情報を重みづけにより評価し、乳牛の稼ぐ力として数値化したもので、この値が高いほど、稼ぐ力のある、能力の高い牛との評価になります。

下の表はある農場でのNM分布です。若い牛ほど数値が高ければ改良が進んでいることとなりますが、この農場ではNMが高い牛もいますが、2019年以降頭打ちになっていること、NMがマイナスの牛も相当数いることが分かります。



農場ごとの強み・弱みの傾向をつかむこともできます。この牧場では乳蛋白質生産量が多い牛や、体細胞数が高くなりにくい牛が多いという傾向が見られた反面、妊娠し難い牛や、乳器が垂れさがりやすい牛が多いことが分かりました。ゲノミック検査を行うことで強みを伸ばし、弱みを補正していくという選択ができます。



牧場の強み

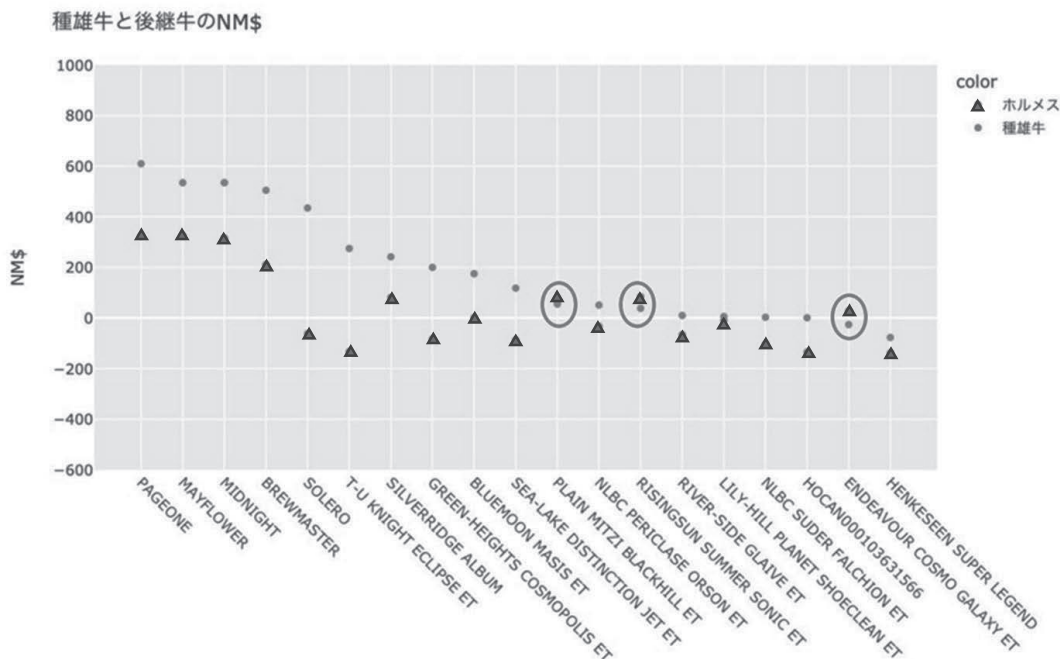
牧場の弱み

種雄牛の選択が適切であるかどうかについても、評価が可能です。

子牛の能力は一般的に母牛と父牛の能力の掛け合わせで決まるため、母牛より能力の低い種雄牛を掛け合わせてしまうと、子牛の遺伝的な能力向上に繋がりません。

下表は母牛と、それに授精した種雄牛のNMを比較したものです。この農場では、概ね母牛よりも遺伝能力の高い種雄牛が授精されていることが分かりますが、丸で囲った牛では、母牛よりも能力の低い種雄牛が授精されています。

種雄牛の選択にもゲノミック検査は大きな役割を果たしてくれます。



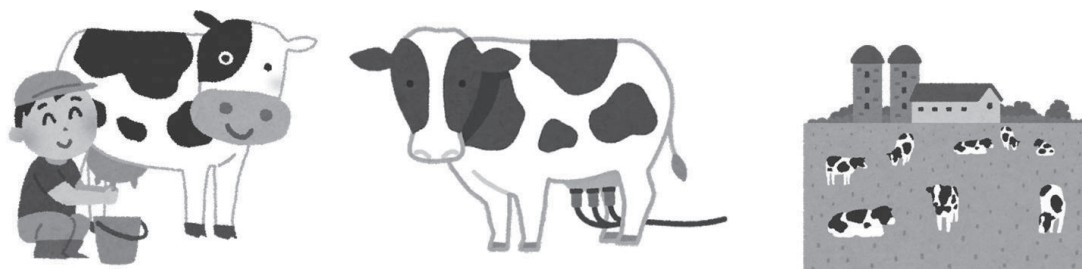
ファームノートの最大の特徴は、専用のシステムを使用し、ホル種の授精状況や後継牛確保頭数の他、F1や和牛受精卵も含めた牛群全体の授精割合の設定を踏まえ、子牛販売による収益を最大化しつつ、必要な後継牛を確実に確保していくために必要な情報を提示し、経営主の授精行動をサポートしてくれる点にあります。

専用のシステムにこれまで受胎したホル種雄牛から想定される後継牛頭数と、今後ホル種雄牛の授精が必要な牛が表示される形になっているため、後継牛の分娩数が多すぎた、少なすぎたといったことが回避できるシステムになっています。

種雄牛の選択に不安がある場合は、ファームノートを通じてメイティングを依頼することもできます。メイティングは現在使用している、もしくは使用を想定している種雄牛についても実施することが可能です。

ゲノミック検査については、各社が様々な形で情報を提供していますが、これまでは、共進会等、改良に熱心な方が実施するものといったイメージがあったかもしれませんが、しかし今回紹介したように、ゲノミック評価は今後の経営に直結する様々なデータを提供してくれるものです。

ゲノミック検査についてご興味のある方やご不明な点がある方は、福島県酪農協の各担当指導員および職員にお問い合わせください。



全酪連の小窓 1月号 エネルギーバランス～採食量UPに向けて～

新年あけましておめでとうございます。
今年一年も皆様の酪農経営のサポートに努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。
寒くなるとエネルギー消費量が夏場に比べ落ちてきます。分娩前後の事故にも注意していきましょう。

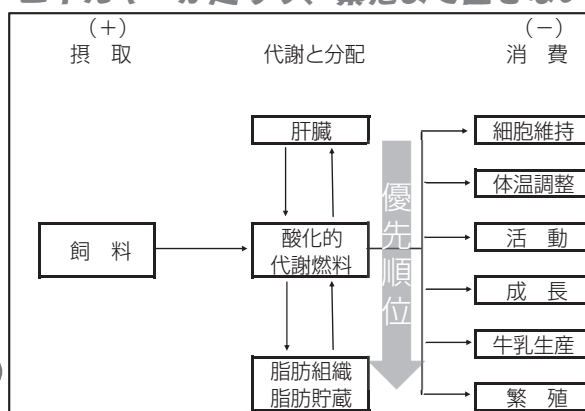
乳量と繁殖の関係

本来出るはずの乳量を抑制するとエネルギーバランスが悪くなり、次の繁殖が遅れる可能性があります。

| | 高乳量 | 低乳量 |
|------------------------|------|-------|
| TMRのエネルギー濃度 (Mcal/Kg) | 1.8 | 1.5 |
| 乾物摂取量 (%体重) | 3.6 | 3.2 |
| 乳量 (Kg/日) | 41.6 | 32.8 |
| 泌乳ピーク | 9週目 | 7-8週目 |
| 分娩後にエネルギー・バランスがプラスになる週 | 3週目 | 7週目 |
| 卵胞液中のE2濃度 (ng/ml) | 2.3 | 1.6 |

(kendrick et al., 1997)

エネルギーが足りず、繁殖まで回せない



(Hoard's Dairyman Vol.148, No3 Feb.25, 2003)

特に分部直後はエネルギーバランスが悪くなりやすい

| | 経産牛/体重725Kg | | 初産牛/体重575Kg | |
|-----|-------------|------|-------------|------|
| | 2日前 | 2日後 | 2日前 | 2日後 |
| 維持 | 11.2 | 10.1 | 9.3 | 8.5 |
| 妊娠 | 3.3 | | 2.8 | |
| 成長 | | | 1.9 | 1.7 |
| 乳生産 | | 18.7 | | 14.9 |
| 合計 | 14.5 | 28.8 | 14.0 | 25.1 |

* NRCによる (単位はMcal)。

* 乳量は経産牛で25Kg、初産牛で20Kg、乳脂肪率4%。

(Courtesy of J.K.Drackley)

分娩2日前～2日後で正味エネルギー要求量は約2倍増加します。

しかし分娩直後の乾物摂取量は低いので、エネルギーバランスが崩れてボディコンディションが悪化しやすいのです。

分娩後のボディコンディション低下を抑制するために

乾物摂取量の向上が最重要です。分娩後もしっかり食べられるように乾乳期から良質粗飼料を食べさせて腹づくりしていきましょう。

濃厚飼料は体重1%からスタートして1日0.5kg (5日で2.5kgずつ) 増給していきましょう。5日毎に調整したほうが粗飼料摂取の増加を観察しやすいでしょう。

* 濃厚飼料増給中に粗飼料の採食量が伸びてこなければ、濃厚飼料の増給は一時中断し、潜在性の周産期病 (低カルシウム血症、ケトージスなど) を疑いましょう。獣医さんと相談しながら早めの治療を検討しましょう。

ZENRAKUREN



長い飼料は食べにくい

長い飼料片が過剰にあると採食時間に影響を及ぼします。現場でも選び食いや牛床側への引き込みが見られるかと思えます。以下のような対策で粗飼料採食UPを目指してみましょ。う。

- ①粗飼料の切断長を短く（牛の鼻鏡幅半分の5cm以下）する。
- ②給与回数や掃き寄せ回数を増やす。
- ③TMRの場合、加水を行い選び食いを最小限に抑える。

牛は約8mmの飼料片サイズまでよく噛んでから飲み込むよ



硬い飼料は食べにくい

刈遅れの牧草は消化性が悪く乾物摂取量を制限する可能性があります。少しでも乾物摂取量を上げるためのご提案です。

- ①低品質粗飼料の一部を消化性の良い番手や草種に置き換える。
消化性が比較的高い輸入乾牧草：オーツヘイ、クレイングラス
- ②低品質粗飼料を制限して消化性の良い繊維とエネルギーを含む醗酵性炭水化物を使用する。
ただしルーメンマットの形成能は低いことに注意。
例：ビートパルプ、ビール粕や豆腐粕などの副産物（非粗飼料センイ）

- ③細かく切断する。
消化性が低い粗飼料（高uNDF）でも、長い切断長（高peNDF）より細かく切断（低peNDF）したほうが摂取量が増える。

| | | 低uNDF | | | 高uNDF | | | | |
|--------------|--------|--------|---|--------|--------|-------|--------|-------|----|
| | | 低peNDF | | 高peNDF | 低peNDF | | 高peNDF | | |
| uNDF | %DM | 8.6 | | 8.6 | 10.5 | | 10.5 | | |
| peNDF | %DM | 18.4 | | 19.9 | 16.2 | | 19.9 | | |
| 乾物摂取量 | Kg | 27.5 | a | 27.3 | a | 27.4 | a | 24.9 | b |
| エネルギー補正乳量 | Kg | 47.0 | a | 45.8 | ab | 46.4 | ab | 44.6 | b |
| 乳量 | Kg | 46.1 | a | 44.9 | ab | 44.0 | bc | 42.6 | c |
| 乳脂肪率 | % | 3.68 | b | 3.66 | b | 3.93 | a | 3.92 | a |
| 乳蛋白質率 | % | 2.79 | | 2.91 | | 3.13 | | | |
| 採食時間 | 分/日 | 255.4 | b | 262.5 | b | 279.1 | ab | 300.3 | a |
| 反芻時間 | 分/日 | 523.2 | | 526.5 | | 531.8 | | 544.5 | |
| 採食時間 | 分/KgDM | 9.1 | c | 9.6 | bc | 10.1 | bc | 11.9 | a |
| 反芻時間 | 分/KgDM | 18.6 | b | 19.3 | b | 19.3 | bc | 21.7 | a |
| 1日平均pH | | 6.11 | b | 6.17 | ab | 6.22 | ab | 6.24 | |
| pH5.8以下になる時間 | %/日 | 52.0 | | 49.6 | | 33.5 | | 30.0 | |
| 総VFA | mM | 122.8 | a | 120.6 | ab | 118.3 | ab | 112.3 | b |
| 酢酸：プロピオン酸 | | 2.83 | c | 2.89 | bc | 3.04 | ab | 3.01 | ab |

abc上付き文字が異なる数値は有意差あり(P<0.05) (Hoard's Dairyman, Vol.163, No.16, Sep.25, 2018)

分娩後のエネルギー要求を満たすために嗜好性・消化性に優れた粗飼料給与が重要です！

給与方法等で、ご不明点ありましたら、全酪連職員や県酪職員へご相談ください！

ZENOAQ コーナー Vol.229



〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

牛ウイルス性下痢 (BVD) について

今回からは牛ウイルス性下痢 (BVD) についてお話していきたいと思えます。

BVDは世界中でまん延している牛のウイルス感染症で、日本でも届出伝染病に指定されています。

BVDウイルスは豚の豚熱ウイルス、羊のボーダー病ウイルスと同じフラビウイルス科のペスチウイルス属に分類されており、エンベロープを有し、一般的な消毒剤で不活化される1本鎖RNAウイルスです。

急性感染 (TI) と持続感染 (PI)

BVDには急性感染 (TI) と持続感染 (PI) の2つの病態があります。急性感染は一過性の感染で、通常のウイルス感染と同様にウイルス血症は2-3週間持続しますが、宿主の免疫応答に伴い、多くは治癒します。

一方、妊娠牛がウイルス感染した場合、その胎子はBVDウイルスに対して免疫寛容 (特定の抗原に対して免疫反応が起こらなくなる状態のこと) となり、持続感染を起こすことがあります。持続感染を起こした牛 (PI牛) は、一生涯、あらゆる体液に多量のウイルスを排泄し続けます。牛群内にPI牛がいることで、別の妊娠牛に感染し、また新たなPI牛を生み出すこととなりますので、PI牛はBVDの疫学においてもっとも重要な感染源であり、BVDウイルスが農場内に維持されるための基盤であると言えます。

BVDウイルスの胎子感染の転帰は胎齢によって異なりますが、免疫寛容すなわちPIが生まれる時期はおおよそ胎齢30~120日頃とされています。

| | |
|--------------|---|
| 急性感染 (TI) | <ul style="list-style-type: none"> 一過性の感染でウイルス血症は2-3週間持続する 子牛~成牛で発熱、呼吸器症状、下痢、繁殖障害、泌乳量低下、免疫抑制に伴う二次感染の増加などさまざまな病態を引き起こす |
| 持続感染 (PI) | <ul style="list-style-type: none"> 妊娠牛が妊娠30-120日前後で感染すると胎子が持続感染 (PI) 牛となる PI牛は生涯にわたり多量のウイルスを保持・排泄する 発育不良、下痢、呼吸器症状などが主な症状だが、無症状の場合も多い |

BVDの経済損失

BVDの急性感染による致死率はそれほど高くありませんが、多大な経済損失をもたらすことが知られています。一説によると、BVDによる経済的な損失は牛1頭当たり平均8560円/年にのぼると言われています（Yarnall et al.,2017）。

BVDによる被害は様々です。直接的な影響としては、PI牛の淘汰に係るコストや流産・早期胚死滅等による受胎率の低下、乳房炎にかかりやすくなる、乳量・乳質の低下等が挙げられます。また、間接的な影響としては、PI牛の摘発に関する検査や農場内の衛生管理にかかるコストや人件費の増加等も見込まれます。

酪農場（搾乳牛100頭）におけるBVDの影響の評価*（1年間の合計）

| BVDの影響 | なし | あり |
|-------------|-----|----------|
| 流産頭数（頭） | 3 | 6～9 |
| 再授精（%） | 51 | 53.2～55 |
| 子牛の治療頭数（頭） | 10 | 30～40 |
| 乳量の減少（%） | 0 | -2.6～7.4 |
| 体細胞数（千個/ml） | 220 | 247～262 |
| 乳房炎（延べ件数） | 44 | 52～57 |
| 胎盤停滞（件） | 9 | 12～19 |

(Fourichon et al., 2005)

BVDの対策

BVDの対策としては、まず第一に農場内のウイルス感染状況を正確に把握することから始まります。そしてPI牛がいた際には、それを確実に摘発・淘汰する必要があります。つまり検査によって感染源となるPI牛を排除し、清浄な状態を作り出す、ということです。

次に、検査によって得られた清浄な状態を維持するために、農場の衛生管理の強化やワクチネーションを行い、定期的なモニタリング検査によって陰性状態が保持できていることを確認します。

具体的な方法については、次回お話ししたいと思います。



令和5年度11月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、131円55銭4厘で前年より11円42銭6厘上回る単価となりました。生乳取引価格については、令和4年11月1日から飲用向け及び発酵乳向け10円/kg（税抜）の値上げが、令和5年4月1日から学乳向け及び乳製品向け10円/kg（税抜）の値上げとなっております。また、令和5年8月1日からは飲用向け及び発酵乳向け、学乳向けが10円/kg（税抜）の値上げとなっております。さらに、令和5年12月1日取引分から乳製品向けのうち油脂分（バター向け及び生クリーム向け）の生乳取引価格について6円/kg値上げの期中改定となっております。

（東北全体11月）

| 用途別 | 販売乳量 (ト) | 日量 (ト) | 前年比 (%) | シェア (%) | 前年度 シェア |
|---------|-------------|-----------|------------|------------|------------|
| 飲用向け | 24,429 | 814.0 | 92.3 | 68.7 | 67.9 |
| 加工向け | 2,132 | 71.0 | 71.4 | 6.0 | 7.7 |
| 学校給食向け | 2,515 | 84.0 | 97.9 | 7.1 | 6.6 |
| 発酵乳向け | 5,600 | 187.0 | 90.1 | 15.7 | 16.0 |
| 生クリーム向け | 749 | 25.0 | 125.2 | 2.1 | 1.5 |
| チーズ向け | 144 | 5.0 | 102.0 | 0.4 | 0.4 |
| 合計 | 35,569 | 1,186.0 | 91.2 | 100.0 | 100.0 |

備考 1) 買取乳量を除く

- 東北全体プール乳代金 4,290,322千円 単価129.798円
- 内 福島県分プール乳代金① 489,363千円 単価129.798円
- プール対象外乳代金② 103,880千円
- (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 593,243千円 単価134.315円

| 項目 | 令和5年11月 | 前年同月 | 増減 | 前々年同月 |
|----------|---------|---------|--------|---------|
| プール乳価 | 130円596 | 119円091 | 11円505 | 111円300 |
| 補給金単価 | 0円734 | 0円790 | -0円056 | 0円776 |
| 集送乳調整金単価 | 0円224 | 0円247 | -0円023 | 0円243 |
| 合計 | 131円554 | 120円128 | 11円426 | 112円319 |

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

団体別受託乳量の状況

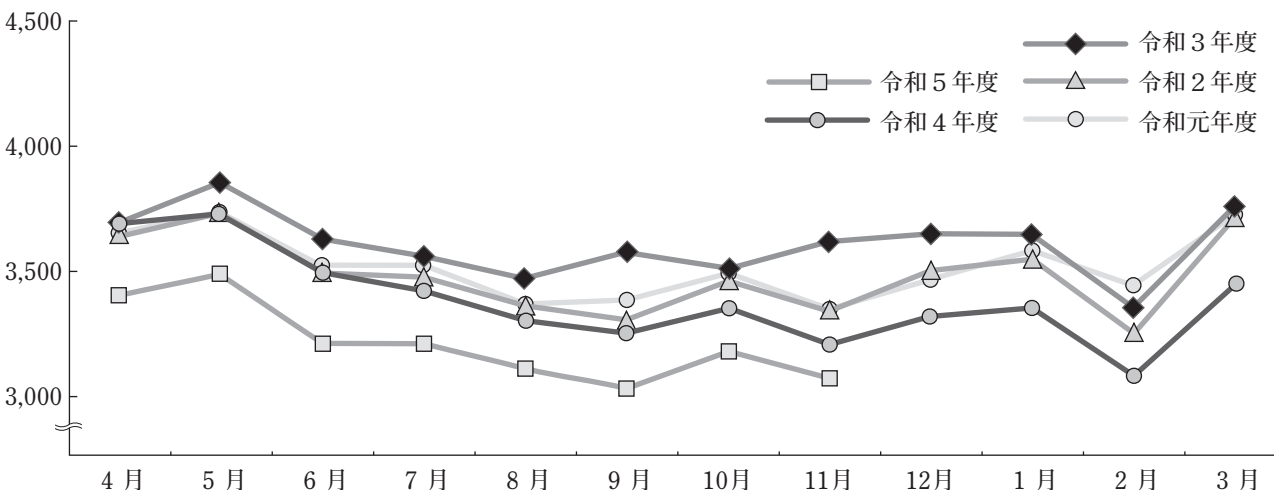
北海道：96.8%、都府県：95.7%

| 団体名 | 11月分 | | |
|---------|-------------|-----------|------------|
| | 受託乳量 (ト) | 日量 (ト) | 前年比 (%) |
| 県酪協 | 3,070 | 102.3 | 95.6 |
| 全農福島県本部 | 1,347 | 44.9 | 95.1 |
| 合計 | 4,417 | 147.2 | 95.5 |
| 東北生乳販連 | 35,569 | 1,185.6 | 91.2 |
| 全国 | 539,799 | 17,993.3 | 96.3 |

月別受託乳量 県酪協 (トン)

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 令和元年度 | 3,661 | 3,736 | 3,526 | 3,528 | 3,380 | 3,391 | 3,495 | 3,349 | 3,477 | 3,589 | 3,442 | 3,735 | 42,310 |
| 令和2年度 | 3,642 | 3,739 | 3,495 | 3,482 | 3,363 | 3,310 | 3,458 | 3,341 | 3,505 | 3,549 | 3,268 | 3,723 | 41,874 |
| 令和3年度 | 3,693 | 3,859 | 3,629 | 3,599 | 3,564 | 3,486 | 3,578 | 3,515 | 3,619 | 3,652 | 3,353 | 3,760 | 43,307 |
| 令和4年度 | 3,691 | 3,733 | 3,494 | 3,434 | 3,305 | 3,255 | 3,354 | 3,210 | 3,324 | 3,355 | 3,088 | 3,456 | 40,699 |
| 令和5年度 | 3,407 | 3,492 | 3,217 | 3,217 | 3,117 | 3,037 | 3,185 | 3,070 | | | | | |
| 前年比% | 92.3 | 93.5 | 92.1 | 93.7 | 94.3 | 93.3 | 95.0 | 95.6 | | | | | |

単位・トン



令和5年度受託乳量の状況

令和5年11月の受託乳量は、県全体で前年比96.3%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,070ト、前年比95.6%（対前年同140ト減）、全農県本部は1,347トの対前年比95.1%

（対前年同月70ト減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比91.2%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比96.3%となりました。

令和5年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で生クリーム向けが125.2%、チーズ向けが102.0%と上回り、飲用向けが92.3%、加工向けが71.4%、学校給食向けが97.9%、発酵乳向けが90.1%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和5年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比43銭引き上げの「8円69銭」、集送乳調整金を同6銭引き上げの「2円65銭」、総交付対象数量については、前年度比15万トン減の「330万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年度比49銭上げの「11円34銭」となります。補給金単価の上げ要素としては、

配合飼料価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費と単独集送乳経費の増加、下げ要素としては加工原料乳の集乳乳量の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

なお、今月の酪王協同乳業（郡山工場）の生乳使用量は日量平均45.1トﾝ（前年比90.8%）で、本組合生産量の44.1%、県全体生産量の30.7%の処理量となりました。

年次別・月別支払乳価一覧（農協特例） ※補給金・集送乳調整金を含む

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 令和5年度 | 120.673 | 121.861 | 122.643 | 121.705 | 129.935 | 133.579 | 132.503 | 131.554 | | | | | |
| 令和4年度 | 109.973 | 110.973 | 112.420 | 111.282 | 110.437 | 112.872 | 112.484 | 120.128 | 117.186 | 118.965 | 119.149 | 116.514 | 114.365 |
| 令和3年度 | 110.502 | 111.609 | 113.060 | 111.724 | 110.197 | 112.507 | 112.537 | 112.319 | 109.640 | 110.594 | 110.503 | 109.010 | 111.184 |
| 令和2年度 | 108.959 | 110.268 | 113.694 | 113.625 | 112.257 | 114.269 | 113.489 | 112.845 | 111.265 | 111.109 | 112.190 | 109.876 | 111.986 |
| 令和元年度 | 107.825 | 109.442 | 110.235 | 109.707 | 109.001 | 110.834 | 113.758 | 112.804 | 110.935 | 111.470 | 112.026 | 108.238 | 110.523 |

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和5年11月30日現在

| 地区 | 酪農家戸数 | | | 乳牛頭数 | | | | | | | | | |
|----|---------|---------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| | 戸数 | 前年度戸数 | 前年比 | 育成 | 初妊 | 経産牛 | | | | 合計 | 前年度頭数 | 前年比 | 1戸当り頭数 |
| | | | | | | 乾乳妊娠 | 妊娠搾乳 | 空胎搾乳 | 小計 | | | | |
| 県北 | 戸 26 | 戸 29 | % 89.7 | 頭 419 | 頭 153 | 頭 186 | 頭 282 | 頭 822 | 頭 1,290 | 頭 1,862 | 頭 1,920 | % 97.0 | 頭 71.6 |
| 県中 | 48 | 54 | 88.9 | 237 | 143 | 191 | 294 | 720 | 1,205 | 1,585 | 1,704 | 93.0 | 33.0 |
| 浜 | 6 | 7 | 85.7 | 107 | 28 | 26 | 50 | 111 | 187 | 322 | 336 | 95.8 | 53.7 |
| 県南 | 32 | 36 | 88.9 | 542 | 247 | 234 | 508 | 963 | 1,705 | 2,494 | 2,658 | 93.8 | 77.9 |
| 合計 | 112 | 126 | 88.9 | 1,305 | 571 | 637 | 1,134 | 2,616 | 4,387 | 6,263 | 6,618 | 94.6 | 55.9 |

| 地区 | 月別分娩予定頭数 | | | | | | | 生乳出荷戸数 | 販売乳量 | | | |
|----|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|--------------|-------------|------------|------------|
| | 令和5年12月 | 令和6年1月 | 令和6年2月 | 令和6年3月 | 令和6年4月 | 令和6年5月 | 令和6年6月 | | 地域別販売乳量 | | 1日1頭当り乳量 | |
| | 1日当り | 1日1戸当り | 搾乳牛 | 経産牛 | | | | | | | | |
| 県北 | 頭 123 | 頭 114 | 頭 106 | 頭 87 | 頭 75 | 頭 52 | 頭 64 | 戸 22 | kg 31,706 | kg 1,441 | kg 28.7 | kg 24.6 |
| 県中 | 114 | 120 | 95 | 91 | 57 | 41 | 110 | 48 | 24,964 | 520 | 24.6 | 20.7 |
| 浜 | 11 | 19 | 15 | 15 | 7 | 8 | 29 | 6 | 4,875 | 813 | 30.3 | 26.1 |
| 県南 | 194 | 150 | 131 | 138 | 105 | 120 | 151 | 30 | 40,876 | 1,363 | 27.8 | 24.0 |
| 合計 | 442 | 403 | 347 | 331 | 244 | 221 | 354 | 106 | 102,420 | 966 | 27.3 | 23.3 |

第338回 県酪協乳牛市場成績

令和5年12月13日開催

購買者数 20名 (うち県外12名)

| 畜種 | 雌雄 | 成立数 (成立率) | 最高価格 最低価格 | 平均価格 (前回比) | 平均体重 (前回比) | 平均単価 (前回比) |
|------|----|--------------|--------------------|------------------|---------------|----------------|
| ET和牛 | メス | 19 (100) | 298,000 55,000 | 217,053 (111) | 96 (95) | 2,267 (117) |
| | 雄 | 35 (97) | 375,000 105,000 | 273,886 (124) | 105 (99) | 2,611 (125) |
| 乳牛 | メス | 1 (100) | 3,000 3,000 | 3,000 (21) | 60 (79) | 50 (27) |
| | 雄 | 39 (100) | 123,000 15,000 | 78,077 (174) | 73 (100) | 1,067 (175) |
| 交雑牛 | メス | 53 (100) | 144,000 1,000 | 85,830 (106) | 73 (94) | 1,173 (112) |
| | 雄 | 75 (100) | 171,000 1,000 | 98,253 (97) | 77 (92) | 1,280 (106) |

価格：円 (落札価格) 率・比：% 体重：kg

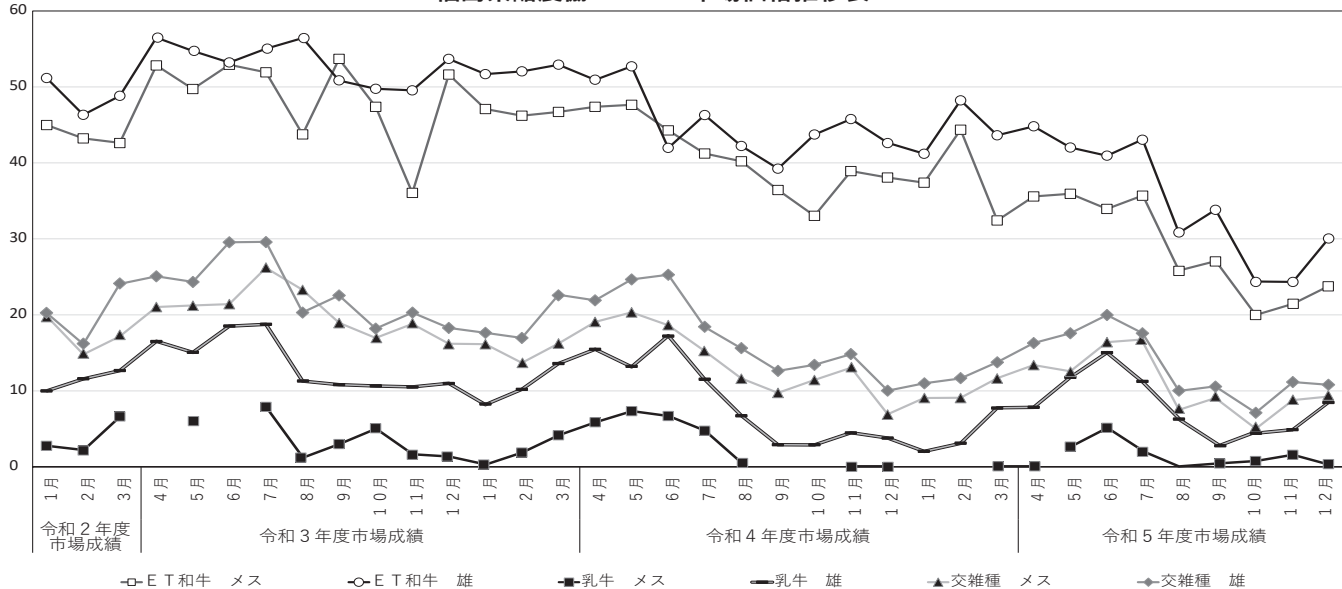
初生牛の価格帯別分布表

(0は0.1~0.9万円、1は1.0~1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。)

| 畜種 | 雌雄 | 価格帯 (万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | <16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
| ET和牛 | メス | 4 | | | | 1 | 1 | 3 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 雄 | 3 | | | 1 | | | 1 | 1 | 2 | 2 | 5 | 5 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| 乳牛 | | 0< | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| | メス | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交雑牛 | | <0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| | メス | 6 | | 1 | 2 | 2 | 3 | 3 | 1 | 4 | 3 | 8 | 8 | 7 | 4 | 1 | | | | | | | | | | |
| 交雑牛 | | <0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| | 雄 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 2 | 6 | 18 | 9 | 12 | 10 | 7 | 1 | | | | 2 | 3 | | | | | | |

単位:万円

福島県酪農協スモール市場価格推移表



組合の動き 12月

| | | | |
|--------|--------------------------------------|--------|--------------------------------------|
| 12月 1日 | 東北生乳販連生乳受託販売委員会 | 12月 | |
| 12月 4日 | 第8回理事会 | 14～15日 | 津島支部研修会 |
| 12月 4日 | (株)らくのう乳販取締役会 | 12月15日 | 県南地区運営委員会及び 第九次中期経営3カ年 計画地区座談会 |
| 12月 5日 | 酪青連第2回後継者支援研修会 (乳量UP事業) | 12月18日 | 浜地区運営委員会及び 第九次中期経営3カ年 計画地区座談会 |
| 12月 6日 | 県北地区運営委員会及び 第九次中期経営3カ年 計画地区座談会 | 12月19日 | シャインコースト株式会社 創立総会 |
| 12月 6日 | 福島県牛乳普及協会 福島民報広告大賞表彰式 | 12月20日 | 森永乳業(株)福島工場情報交換会 |
| 12月 7日 | 福島県酪女性部やまびこ会 牛乳価値向上事業 | 12月 | |
| 12月 7日 | 福島県牛乳普及協会 理事会・幹事会 | 21～22日 | 東北酪専団組合長懇談会 |
| 12月 7日 | 福島県獣医師会理事会 | 12月25日 | 福島県農業会議常設審議委員会 |
| 12月 8日 | 東北生乳販連理事会 | 12月28日 | 第9回経営検討会 |
| 12月12日 | 全酪連監事会・監査講評会 | 12月29日 | 辞令交付式 |
| 12月13日 | 乳牛せり市場 | 12月29日 | 仕事納め |
| 12月14日 | 県中地区運営委員会及び 第九次中期経営3カ年 計画地区座談会 | | |

理 事 会

第8回 令和5年12月4日

議 案

報告事項

- 第一号議案 令和5年度上期事業実績報告及び
部門別損益報告並びに
定期監査報告について
- 第二号議案 令和5年度年末手当の支給について

- 1) 経営検討農家の現状について
- 2) 子会社の令和5年度上期事業報告について
- 3) 今後の日程について

令和5年度 異動等辞令交付

◆退職者(令和5年12月31日付)

| 氏 名 | 事 由 | 所 属 |
|-----------|---------|----------|
| 野 口 広 太 郎 | 依 願 退 職 | 生産部指導診療所 |



写真提供：二本松市 椎谷牧場

酪王協同乳業
からの

新商品ニュース

酪王カフェオレシリーズに「酪王檸檬オレ」が新登場!!

酪王カフェオレシリーズの記念すべき第10弾として、柏屋「檸檬(れも)」のおいしさを忠実に再現した乳飲料を発売します。

「檸檬」は発売から30年以上福島で愛され続ける、爽やかなレモン風味と濃厚なクリームチーズが絶妙にマッチしたチーズタルトです。

「檸檬」と同じフランス産の「キリ クリームチーズ」を贅沢に使用し、特有のタルトの香ばしさと舌ざわりをイメージしました。

濃厚さを保ちつつ1本飲み切れるよう、甘さやミルクの絶妙なバランスを何度も調整しました。

“福島銘菓”と“福島のソウルドリンク”という夢のコラボレーションをぜひお楽しみください。



発 売 日…●柏屋先行 2024年1月10日(水)より ●一般 2024年1月15日(月)より
販 売 先…県内各スーパー、コンビニエンスストアなどでお求めいただけます。
価 格…146円(税別) 158円(税込)
規 格…福島県産生乳使用、ミルク分40%、乳飲料規格

『特派員報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思っております。
ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp

F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(^o^))する話題がいいですね) 2. 受付 (常時受け付けしています)
- ◎文章だけでも結構です。 メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
◎写真があると最高です。 E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 佐藤 幸光

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>